

日本自治集団4月度定例会

開催年月日 令和6年4月30日

出席者（五十音順、敬称略）

伊賀良建設株式会社 田中千勝

一般社団法人関西示道塾 目見田純也

一般社団法人日本警備犬協会 川野信哉、川野梯子

一般社団法人やまと経営者連盟 古賀真

オリエント馬事産業株式会社 村上篤

株式会社A-STYLE 小路晃

株式会社三喜堂 福島總一郎

国際共生創成協会熊野飛鳥むすびの里 荒谷卓

民草の和をつなぐ会大阪 宮平崇

民草の和をつなぐ会東京 桂田裕司

日本示道塾 大原光泰

有限会社ars 朝見剛彦

有限会社アンシャンテ 小野学

1 荒谷代表挨拶

- ・ホームページ開設したので、総会や定例会及びそれぞれの部会で話し合われたことや事業等について載せて、メンバーが活動を各自モニターできるようにするので、定期的に確認していただきたい。
- ・各団体の紹介について、ホームページ担当の株式会社むすびの大村さんに提供されていない団体さんは、できるだけ早く連絡するようにしていただきたい

2 参画団体からの周知事項

- ・伊賀良建設株式会社 田中千勝
 - ① 親族の持っている敷地や山の間伐を行ったり、畑に着手し始め、今年中に大豆の育成を行おうと考えている。
 - ② 19日に熊野にて小水力発電作業に行くにあたり、分電盤の作成が完了しているので、持参予定である。
- ・一般社団法人関西示道塾 目見田純也
 - ① 関西示道塾ではない個人の事業としては車関連の会社を経営している。8年前に大原さんの運営されている示道塾と出会い毎年の学習会

に参画し、その仲間で7人集まり、関西示道塾を社団法人として立ち上げた。現在の大きな活動としては神戸に劇団を呼び、1300万円で2日で1021人集客し、子供たちの劇を観るところから自分たちの命をどう使うのかということを感じてもらった。

- ② 関西示道塾においては2か月に一度イベントを開催していく活動であるが、村上さんのように、7人の仲間が近いところに住んでいるので、毎月の集まり以外にも毎日のように連絡を取り合い、お互いの社員同士も知り合う中で、お互いの関係性の質が非常に高いものとなっている。賀正軒の福田さんは淡路島で農園をやっていたり、廣和技研の畑尾さんが西脇市内に30人規模で宿泊できるような古民家を持っていたり、自分は示道塾で学んだところを共有したり農を体験する学習会の企画を立てたりしている。自分たちの役割としては、中小企業経営者としてのネットワークで新たな人と出会い、仲間を増やしていくことと考えている。大きなことではなく、目の前にある足元の事柄をこつこつとやっている段階である。
- ・一般社団法人日本警備犬協会 川野信哉、川野梯子
 - ① 山中湖の村で生活しており、畑を耕して苗を植え始めたところである。森の中であるため木の根がはびこっている状況ではある。
 - ② エネルギー関連も検討中ではある。
- ・一般社団法人やまと経営者連盟 古賀真
 - ① 大経連は現在160名の加盟となっており、今年いっぱい250名を目標としており、新規入会は自分が全員面談している。日本自治集団内では賀正軒の福田さんも加盟してもらっている。
 - ② 大経連では反グローバリズムではあるが、怒らない、ご機嫌である保守を謳っている。
 - ③ 4月中に東京の池袋にて行われたデモには、国内外に現在のグローバリズムにノーという人々がこれだけいるということを示すために、大経連のオフィシャルにはせず個人として参加した。
- ・オリエント馬事産業株式会社 村上篤
 - ① 有限会社フロンティアジャパンの白山さんが同じ静岡県内において田んぼをさかれていて、当社の馬糞堆肥を所望されたので取りに来ていただき、無料で差し上げました。自治集団内の近傍地域の団体間で協力し合う活動が大事だと思う。
 - ② 乗馬倶楽部を営んでいるので、馬房を維持するために製材くず、木屑が大量に必要となる。そして馬糞が大量に出るが、産業廃棄物として処理するのに費用がかかる。持って行って欲しかった隣の農家が廃

業したのか、持って行ってもらえなくなった。九州の知人の助けにより馬糞に乳酸菌を入れた有機堆肥を作ることが出来る。3～4か月以内には製品化が可能であるので、自治集団内の農に携わる皆さんにご希望があればお譲りすることが出来る。

- ③ 今年中に自分のところでも農を始める道筋が立っているが、水やエネルギー関連は未着手である。白山さんから簡単な手法での井戸掘りの話を聞いたので検討している。
 - ④ オリエント馬事産業としては数十人単位の人的ネットワークが構築されており、それを強固にするところを日常において大切にしている。
 - ⑤ 芝地を畑にしようとして考えているが元々除草剤が撒かれている土地である。知人の出している乳酸菌を撒くと土壌を改善してくれるという情報が入っている。これから農に着手する方々はこちらにご連絡をいただければ、何かしら提供できることがあると思う。
- ・株式会社 A-STYLE 小路晃
- ① ラーメン店を経営していることから能登半島の震災に炊き出しに仲間と行き、現地の方々との情報交換などに努めている。
- ・株式会社三喜堂 福島總一郎
- ① 弊社社員の鬼頭が農士候補生として修業中となっている。
 - ② 今年から、熊野で借りた田んぼ1反分で黒米生産に挑戦している。
- ・国際共生創成協会熊野飛鳥むすびの里 荒谷卓
- ① 農士育成事業に関し、上田与嗣君については二年目に入り、自主的な農計画を立ててもらったり、4月から農士候補生として研修している鬼頭絵里子さんの手がける三喜堂さんの畑や田んぼの開墾、和歌山に開設した朝見さんの武道場敷地内の農園開拓について農指導の実地研修を行っている。現在のところ2度ほど訪問し作業をともに行っており、まったく農地ではないところをこの先、朝見さんと一緒に開拓していくこととなっている。
 - ② オリエント馬事産業の村上さんのご長男正篤君が4月から半年間、むすびの里で農のみの研修生として住み込みしている。
 - ③ むすびの里にて行っているエネルギー部会有志による小水力発電事業については、5月中にアドバイザーである山口氏も来訪し作業を行う予定である。水量としては問題ない時期にはいっており、技術面がこれからのテーマになろうかと思われる。
- ・民草の和をつなぐ会大阪 宮平崇
- ① 熊野で携わっている古民家で、畑をしている。今年は陸稲で稲作に挑戦する。

- ② 太陽光パネルの余っているものを利用して発電に着手してみようかと考えている。
 - ③ いろは塾という子供に向けた塾の運営をし始めており、2か月に一回学習会を開催している。世界旅行に行った若者がいて、それをサポートしている。
- ・民草の和をつなぐ会東京 桂田裕司
- ① 東京民草の和をつなぐ間に参加している一部の人達で勉強会を月に一度開催している。会全体としてはサバイバルキャンプの計画を立てているところである。
- ・日本示道塾 大原光泰
- ① 3月の終わりに以前共考サロンでご紹介した関西示道塾の息吹講演、長野県のほうでの中山道100kmを歩く武者修行を小学校から中学校の子供たちと信州示道塾に属する会社の新入社員が引率者として参加するという活動を行っている。8月には同様の活動を富山と高知でも開催する。平時は人材育成、子供たちが仲間を作る力を磨きあう活動を行っている。有事の時には、直近では能登半島の復興活動に動く現地の仲間をサポートしあっている。台湾震災については義援金を集め、駐日台湾大使に預けたところである。
 - ② 日本示道塾としては福岡、京都、高知、富山が同時スタートし、経営者を中心に大体100人程度が所属する。後半には東京、愛知、福島、長野がスタートする予定である。
 - ③ 日本示道塾としては先鋭的にはならず、かといって平和的穏便的ということでもなく、実際に有事の時に、それぞれが社員たちを守る、子供たちを守るということを中心に活動を進めており、いったん事あらば動くというところで、緊密な人間関係を構築しているところである。示道塾は、東日本大震災以降の開催で12回目を迎えており、年々、継続学習ということで目見田さんのように複数回参画し仲間を呼び込みながら緊密な関係性が構築されてきているのでやまと経営者連盟や日本自治集団と連合することになることを見越して活動している。一旦緩急あらば義勇公に奉し以て天壤無窮の皇運を扶翼するのだという立ち位置での新しいスタートを迎えたところである。
 - ④ 私宅周辺は田んぼであるが、自らが農にいそむには時間的に出来ないところである。この場で皆さんのお話を聞きながら何か活用できることがないかと考えている。
- ・有限会社ars 朝見剛彦
- ① 有限会社フロンティアジャパンの白山さんと井戸掘り計画を立て、和

歌山に開いた武道場の敷地内で開拓している農地にて実験してみる予定である。

- ② 農を始めるにあたって、農士候補生の上田さんが来てくれて畑にする作業計画を一緒に立てて進めている。大きさとしては60平米ほどで、現在は土づくりに励んでいるところである。

・有限会社アンシャンテ 小野学

- ① 農地、畑の上に透かすように間隔をあけて太陽光パネルを設置して発電と農地を両立させようとする動きが3~4年ほど前からあり、現在調査研究中です。近日、自治集団内でお話しできればと思っている。
- ② 長野と宮崎に太陽光発電を1.2メガほど所有しており、太陽光発電、再生可能エネルギー関連でご相談のある方はご連絡もらえたらと思う。

3 荒谷代表総括

基盤づくり自体がディフェンシブなオペレーションではあるが、相手方から見ると非常に攻撃的に見えることもある。攻撃は攻撃、守りは守りということではなく、社会の大きな変革の中で我々の価値観を守る基盤を着実に構築していくこと自体が、結果的に攻撃の要素を含んでいくことにも成りうる。それぞれの団体がそういった認識を持ちながら従来の枠組みの経営大きく人間として生きる社会の根幹、基盤づくりをすることが新しい世界に踏み出す一歩となる。日本自治集団としてまとめたの活動については、時が来れば自然と集団としての形成が成されることと思われる。ゆえに今のところは、団体ごとに、このままの形で着実に進めていければと考える。

次回定例会

5月18日19時30分～